

多職種連携研修について

1 目的・概要

地域包括ケアシステムを構築するためには、医療と介護の連携体制の確立が重要な課題の一つとなっている。

そこで、練馬区内の多職種（医療職・介護職）によるチームづくりの促進を図るため、また、かかりつけ医の在宅医療への参入を推進するため、下記のとおり「多職種連携研修」を実施することとする。

2 開催方式

練馬区と練馬区医師会との共催

3 対象

医師、歯科医師または歯科衛生士、薬剤師、看護師、MSW（退院調整等）、リハビリテーション職種（PT・OT・ST）、ケアマネジャー、介護職、高齢者相談センター職員

4 定員

1回あたり 100名程度（各職種 10名程度）

※在宅医療や介護に携わっていなくても在宅療養に関心のある方も対象。

※定員を超える申し込みがあった場合には、経験年数の若い方を優先。

5 開催日時

第1回：平成27年12月19日（土）14時～18時30分

第2回：平成28年2月13日（土）14時～18時30分

6 時間

4時間30分程度

7 プログラム

時刻	第1回(平成 27 年 12 月 19 日)	第2回(平成 28 年 2 月 13 日)
14:00	開会あいさつ(研修の趣旨説明含む)	開会あいさつ(研修の趣旨説明含む)
14:10	【ミニ講義】 地域における多職種連携の意義 講師:岡田医院 岡田徹也 先生	【ミニ講義】 認知症と多職種協働の理論と研修のあり方 講師:東京都健康長寿医療センター 研究所研究部長 粟田主一 先生
14:40	【講義】(仮)在宅緩和ケアの基本的理解 講師:要町病院 吉澤明孝 先生	【講義 1】認知症の基礎 講師:桜台診療所 辰野剛 先生 【講義 2】認知症の治療とケア 講師:東京都健康長寿医療センター 研究所研究部長 粟田主一 先生
15:30	休憩	休憩
15:40	【グループワーク】 テーマ: 終末期の在宅療養支援 地域包括ケアシステムについて考える アドバイザー:岡田医院 岡田徹也先生 ・事例検討(グループワーク) ・休憩 ・発表(1班7分) ・全体講評(アドバイザーより) ・質疑応答	【グループワーク】 テーマ: 行動心理徴候(BPSD)へのアプローチ アドバイザー:桜台診療所 辰野剛先生 ・事例検討(グループワーク) ・休憩 ・発表(1班7分) ・全体講評(アドバイザーより) ・質疑応答
18:30	終了、アンケート記入	終了、アンケート記入